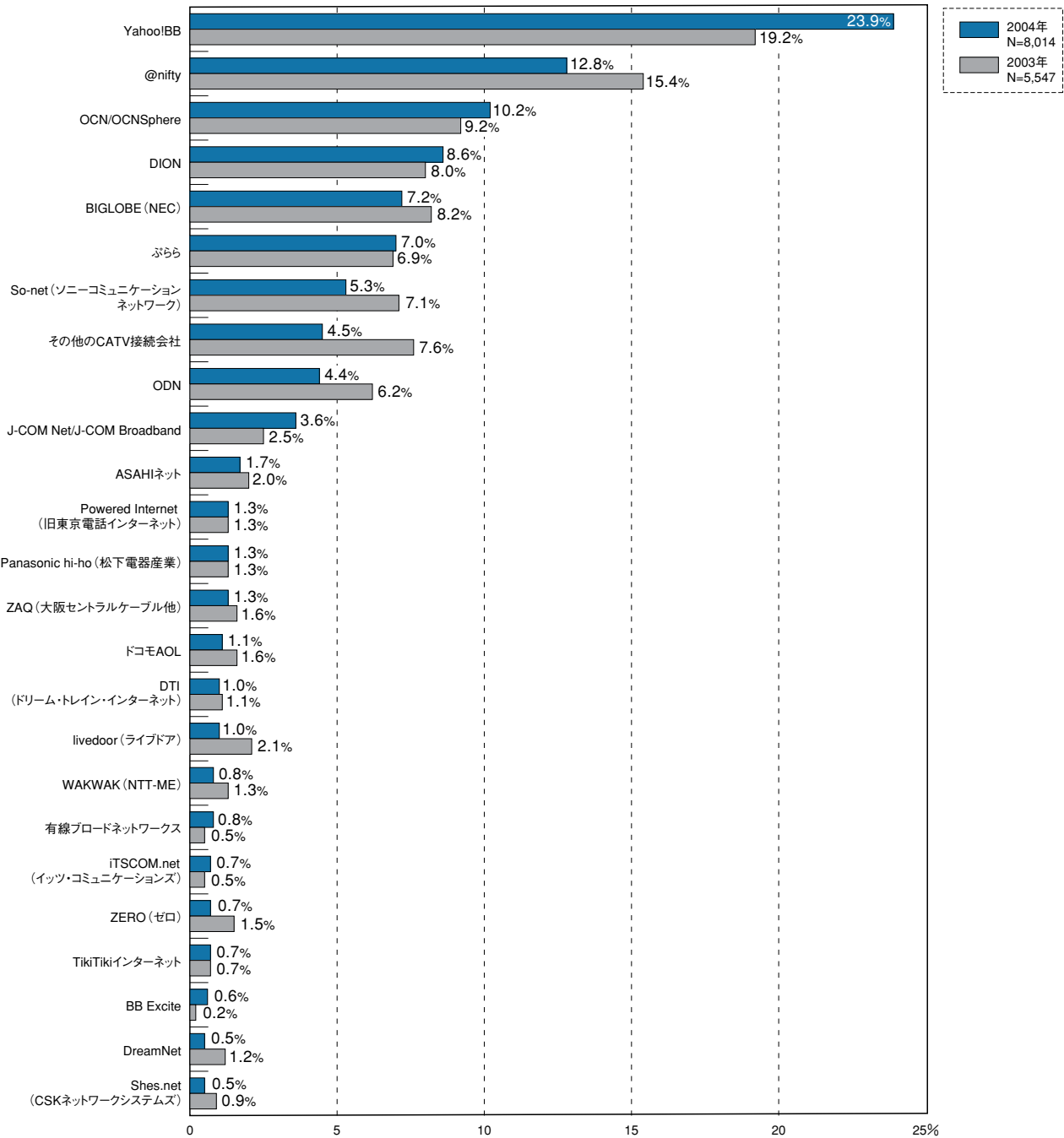


個人向けISP

ブロードバンド化によるISPの順位変動が加速

資料2-1-27 契約しているISP 上位25位 (2003年-2004年) (単数回答)



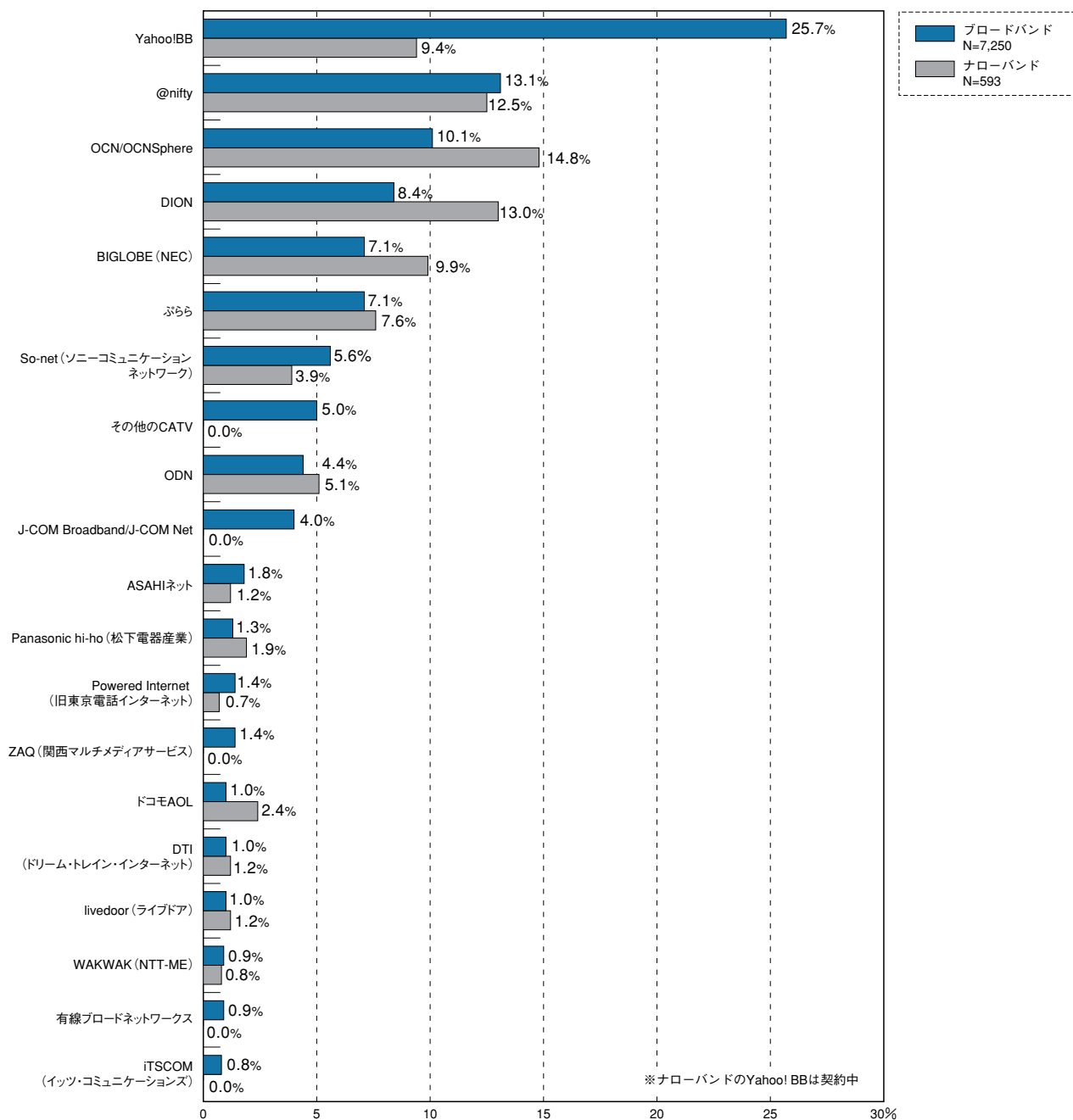
©Access Media/Impress,2004

個人が契約しているISPは、ブロードバンド化の浸透により、順位が変動した昨年から傾向を引き続き加速する状況となっている。1位の「Yahoo!BB」は全体の2割を超えている。ISPとして老舗である2位の「@nifty」は、12.8%とじりじりと後退している。また、10位の「J-COM net/ J-COM Broadband」が伸びているのもブロードバンド利用者の押し上げによる。

個人向けISP

ブロードバンド加入者獲得が鍵となるISPのサービス

資料2-1-28 ブロードバンド/ナローバンド別契約ISP 上位20位 (単数回答)



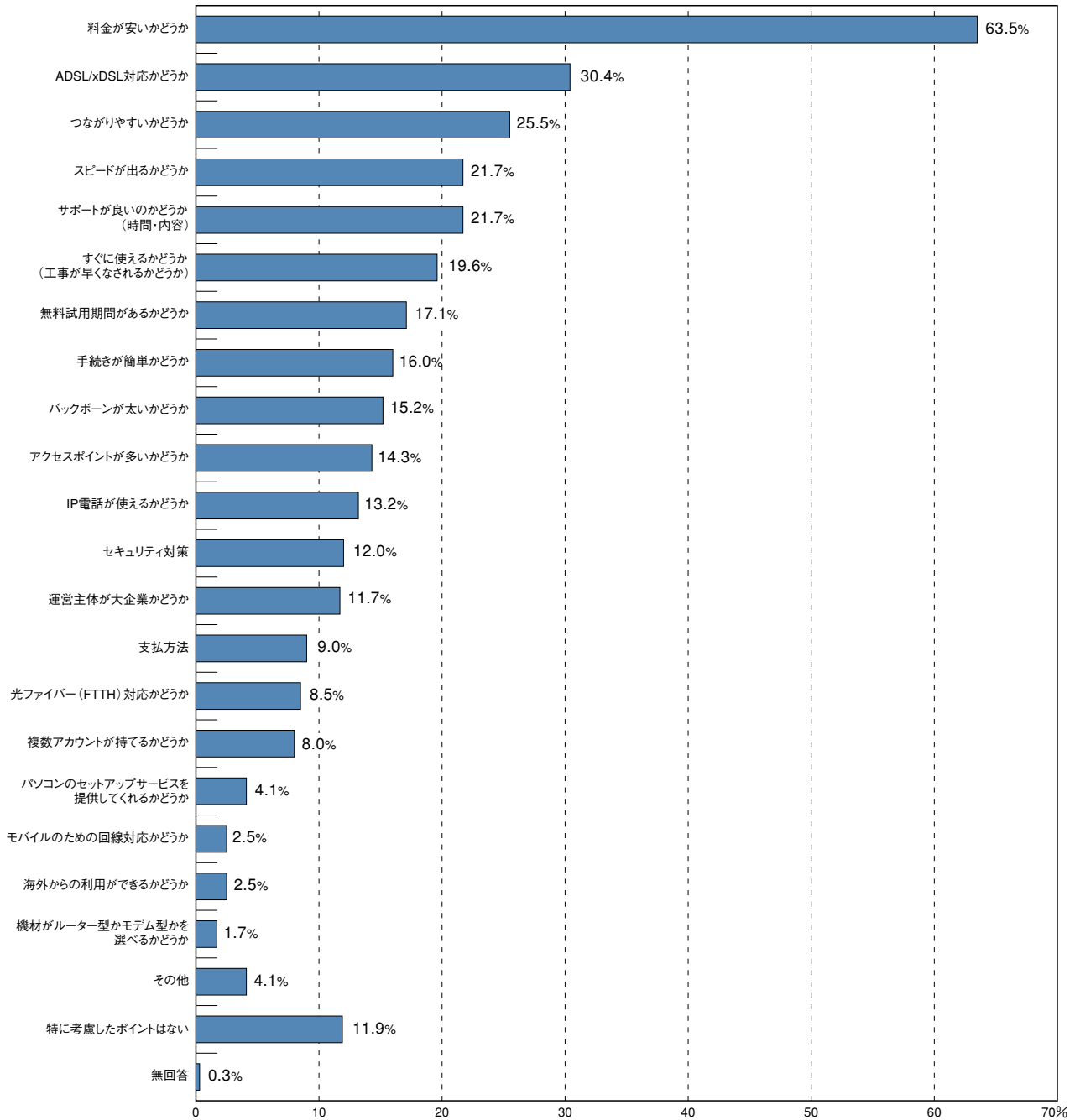
©Access Media/impress,2004

ブロードバンド/ナローバンド別に契約ISPの上位20位を見たものだが、これにはブロードバンド/ナローバンドについての「その他」や「わからない」と回答した171サンプルは含まない。「OCN/OCN Sphere」や「DION」、「BIGLOBE」は上位にありながら、ナローバンドがブロードバンドを上回っている。「So-net」は昨年ナローバンドがブロードバンドを上回っていたが、今回はブロードバンドが増加している。今後もブロードバンド化が進むことは間違いのないため、いかにブロードバンド利用者を獲得できるか、各ISPのサービス戦略が鍵となる。

個人向けISP

「料金が安いかどうか」と「ADSL/xDSL対応かどうか」が比較検討材料

資料2-1-29 ISP選択の際に比較検討した事項 N=8,014



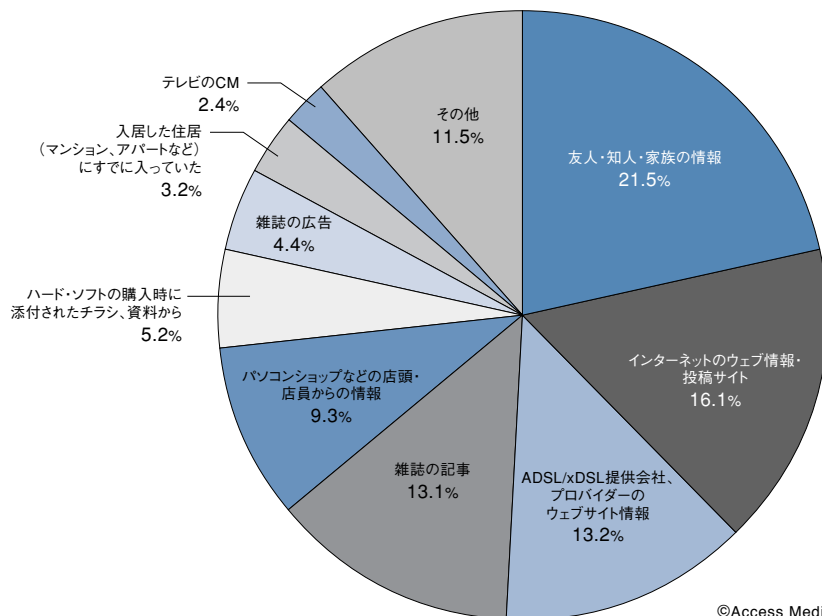
©Access Media/Impress,2004

ISP選択の際の検討事項は「料金が安いかどうか」が他を圧倒している。この傾向は昨年とほぼ同様であるが、昨年2位だった「つながりやすいかどうか」と3位の「ADSL/xDSL対応かどうか」が今年は逆転し、「ADSL/xDSL対応かどうか」が2位となっている。ADSLへの理解が進み、より明確にADSLであることが意識された結果が出たと見られる。

個人向けISP

ISP選択のための情報源は身近な口コミ

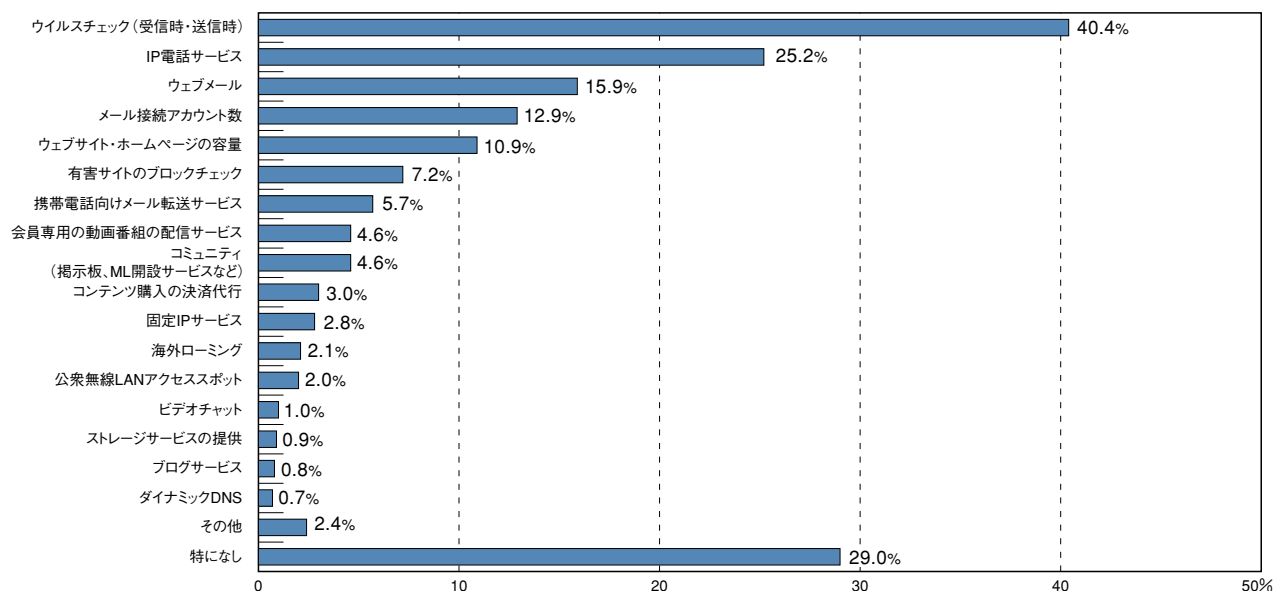
資料2-1-30 ISP選択のために最も重視した情報源 N=8,014



ISP選択のための情報源は「友人・知人・家族の情報」といった身近な信頼できる人の情報が最も高く21.5%を占める。この傾向は昨年と同様である。また、インターネットの接続方法を選ぶ際の参考情報よりさらに口コミに頼る傾向が強いことを示している。また、それだけISPに関する情報を持っている人が周りに増えていることが考えられる。

ISPの3大付加サービスは「ウイルスチェック」「IP電話」「ウェブメール」

資料2-1-31 契約ISPで評価される付加価値サービス N=8,014

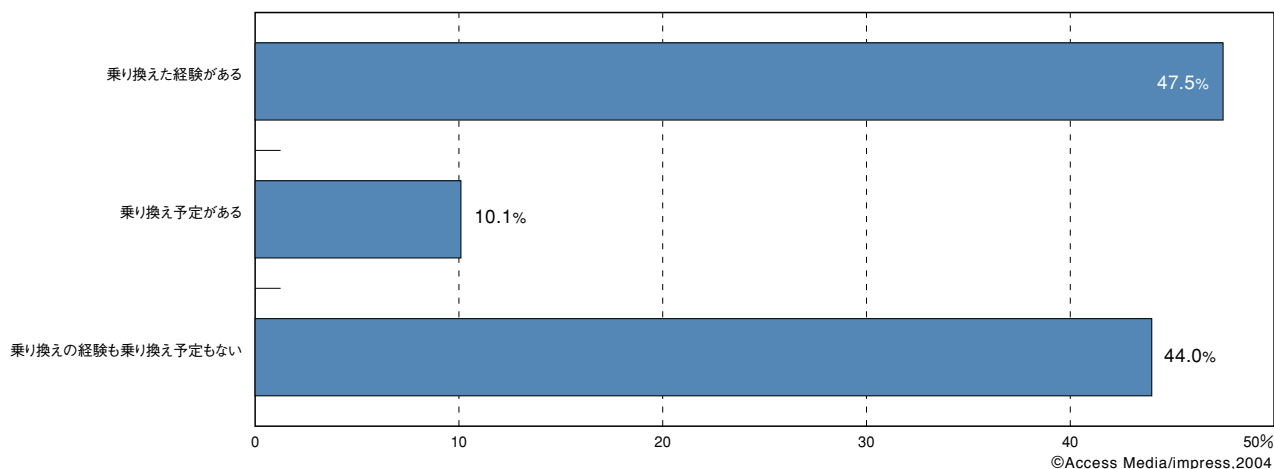


ISPが展開する付加サービスについての評価である。最も高い評価を受けているのは「ウイルスチェック(受信時・送信時)」で40.4%。2位は「IP電話サービス」、3位は「ウェブメール」と昨年の傾向を踏襲するとともに、さらに支持を得る傾向が見られる。いずれのサービスも大手ISPでは提供されることが一般的になっており、認知や実際の利用が進んでいると推測できる。

個人向けISP

ISPの乗り換え経験者は47.5%、予定者は10.1%

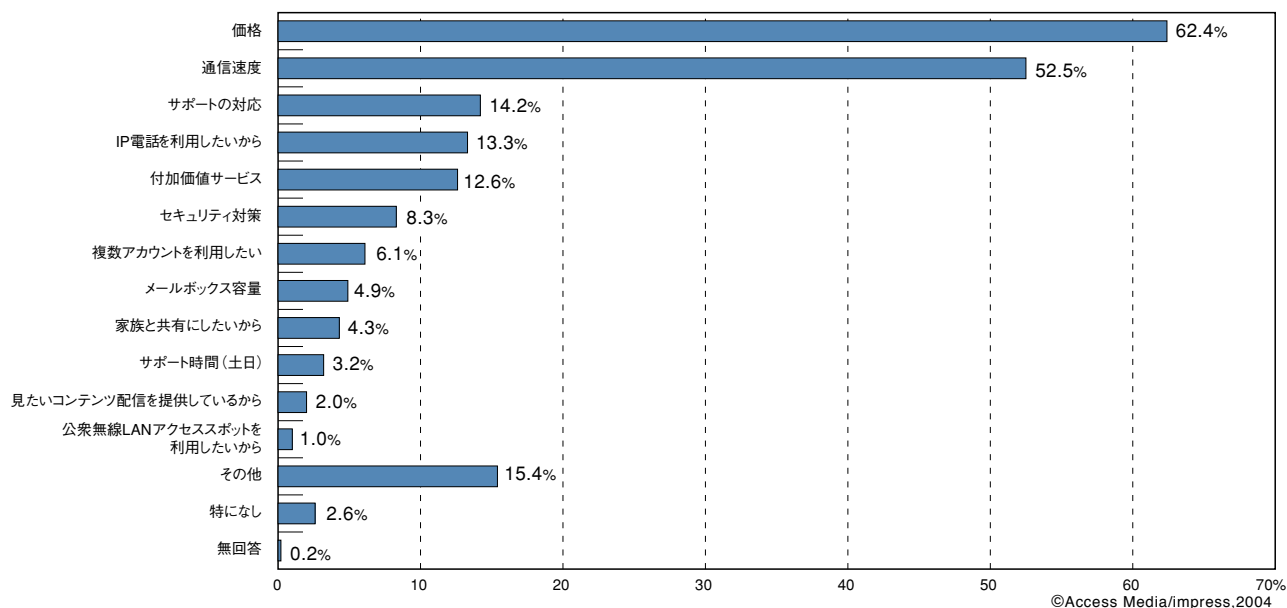
資料2-1-32 ISPの乗り換え状況 N=8,014



ISPの乗り換え経験や予定について聞いたところ、乗り換え経験者は約半数、乗り換え予定があるのは約1割である。この傾向は昨年と同様で、ブロードバンド化のピークを迎えた2002年から2003年にかけて、乗り換え経験が倍増したあとやや落ち着いた感がある。今後、急激な乗り換え予定の増加などはないにせよ、ADSL利用者の光ファイバー乗り換え意向が高いことなどから、スピードアップやサービスの選択がされる際にISPの乗り換えが発生することは十分考えられる。

ISP乗り換えは「価格」と「通信速度」が2大要素

資料2-1-33 ISP乗り換え経験者、予定者の乗り換え理由 N=4,490

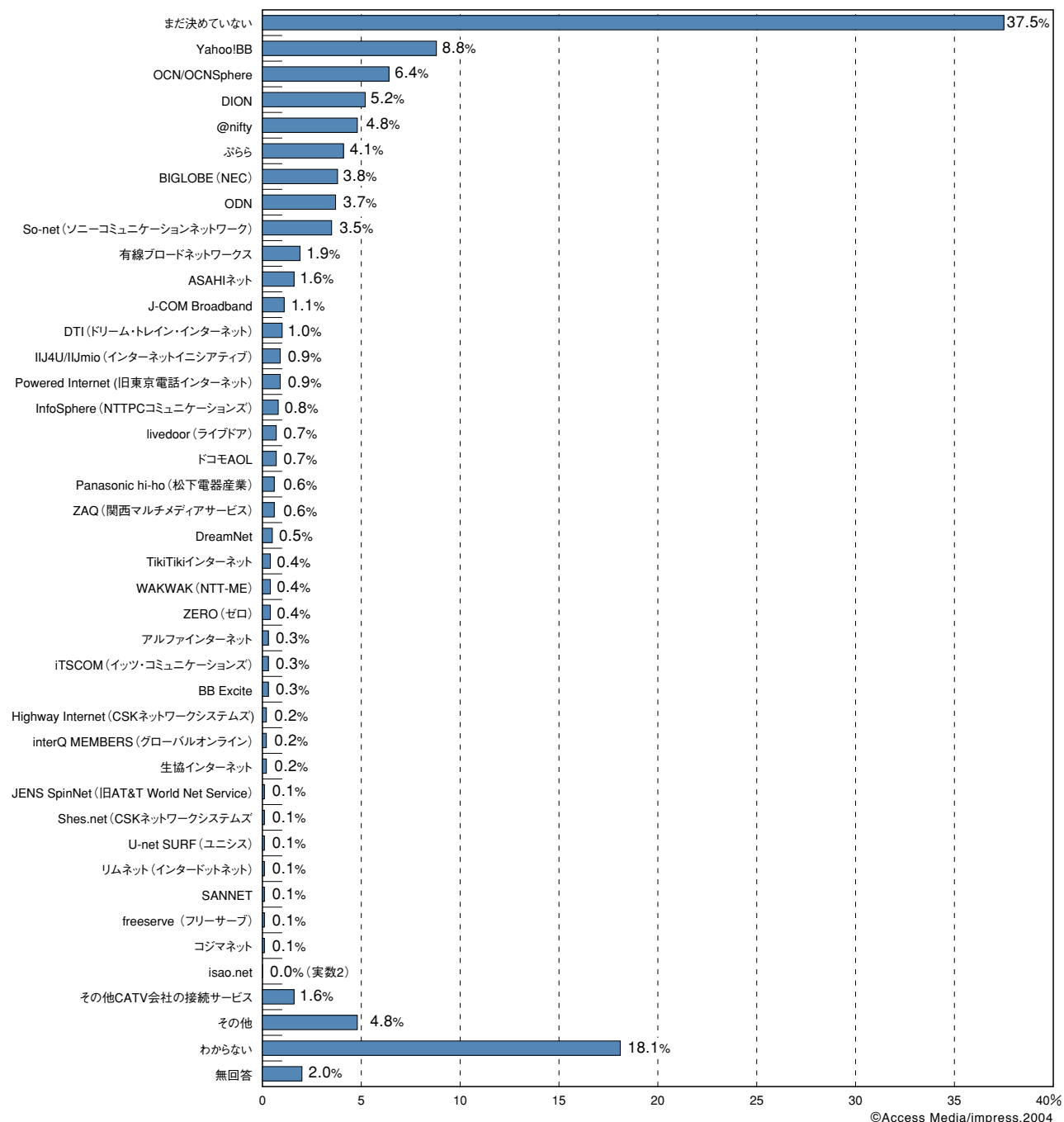


乗り換え経験や乗り換え予定のある回答者の乗り換え理由は、「価格」(62.4%)と「通信速度」(52.5%)が2大要素となっている。その傾向は昨年とほとんど変わらず、乗り換えの際にはコストパフォーマンスが最も重要であることがはっきりしている。

個人向けISP

未定者が4割、具体的なISP名は流動的

資料2-1-34 乗り換え経験者と予定者の乗り換えISP N=4,490



ここでは乗り換えた経験者と予定者両方に乗り換えISP名を聞いているため、今後の意向だけではなく、重複する回答者も存在することに留意したい。全体的には「まだ決めていない」回答が4割近く存在する。具体的に名前が挙げられているのは現状の契約ISPの傾向と似ており、「Yahoo!BB」が強い。ただし、上位ISPの中では「@nifty」や「BIGLOBE」が契約ISPの順位よりやや低く、「有線ブロードネットワークス」などが高い。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp